

「立花国」(たちはなくに)

平成21年度直接検定選抜牛
平成22年度先行交配牛



生年月日 平21年6月16日
生産者 高山市 野々俣肉用牛生産組合

直接検定成績

DG 1.25
余剰飼料摂取量
濃厚飼料 -41 TDN 13
粗飼料 15

血統

期待育種価(枝肉重量 72.397 脂肪交雑 2.679)

父 第1花国 黒 12510	祖父 北国7の8 原 1530	曾祖父 第7系桜 育 29
	祖母 あおはな 高 140927	曾祖父 花 桜 高 957
母 たつみ 原 1209052 育種価 BBABAA	祖父 平 茂 勝 原 2441	曾祖父 第20平茂 育 134
	祖母 たかこ 原 730254	曾祖父 安 福 育 180

種雄牛の特徴

本牛は、種牛性が期待できる第7系桜系の種雄牛造成を目的に、青森県から移入した「第1花国」の凍結精液を利用した取り組みの中で生産され、後代検定牛に選抜されました。

母「たつみ」は産子の枝肉成績が安定しており(4頭中 A-5 が3頭(BMS:11、9、11))、特にモモ上がりが良好であったことから、基礎雌牛に選抜されました。

この飛驒牛らしい肉質に対する能力を持つ母「たつみ」に、増体・肉質ともに期待できる「第1花国」を交配して生産された本牛は、発育及び体伸は中程度ながら、背幅並びに体深に優れていることから、安福系雌牛に交配し、種牛性の改良ができる種雄牛として期待されます。